

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和7年度学校評価 計画

達成度（評価）

A：十分達成できている

B：おおむね達成できている

C: やや不十分である

D : 不十分である

学校名	神崎市立西郷小学校	C: やや不十分である D: 不十分である
1 前年度 評価結果の概要	・児童は、落ち着いた雰囲気の中で、友達への思いやりの気持ちを持ちながら、協力して学校生活を送ることができている。しかし、言葉遣いや友達への「さん」づけなどの習慣化が不十分であるため、全職員で共通理解した指導を継続していく必要がある。 ・校内研究を柱として児童の「主体的な学び、進んで表現する姿」を目指した授業づくりに取り組んだことで、自分なりの表現ができる児童が増えた。しかし、授業が教師主導となりがちになる面があり、今後は児童が主役となる授業のあり方について研修を深めていきたい。 ・職員による自発的なOJT研修、講師を招聘しての研修会、研究発表会への参加等により、互いに情報共有しながら学び合う職員の姿が見られるようになった。しかし、若手職員が増加していることから、次年度も更なる研修を計画していきたい。 ・情報モラルについての指導を積極的に進めたり、PTAと連携して保護者への啓発となる研修を計画したりして、児童の望ましい生活習慣の形成に力を入れていきたい。	
2 学校教育目標	教育目標『ともに学び、ともに伸びゆく西郷っ子の育成』校訓 ～学び 愛し 翔る 西郷小～	
3 本年度の重点目標	①協働的な学びを通して、進んで学び、よく考え、自分なりに表現する子どもの育成 ②思いやりの心を持ち、互いのよさを認め合う子どもの育成	

4 重点取組内容・成果指標				中間評価		5 最終評価				主な担当者
(1)共通評価項目										
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	○全職員による共通理解と共通実践	○校内研の取り組みにより「授業力が向上した」と回答した職員80%以上 ○「学習中に、自分の考えや意見を自分らしい表現で伝えることができた」と回答した児童80%以上	・「授業づくりのステップ1・2・3 Vol.2」を踏まえ、「話し合う活動」のステップ3を目指す。 ・校内研究を柱に、「子どもの出番が増える授業づくり」に取り組む。						・研究主任 ・学力向上CO ・学び部	
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳に関するアンケートにおいて「友達に対して優しい言葉掛けや優しく接することができた」と回答した児童85%以上	・ふれあい道徳で、B主として人との関わりに関することの(6)親切、思いやり、(10)相互理解、寛容をテーマにした授業を保護者や地域に公開する。 ・人権週間の取り組み等を通して人権意識を高める。						・人権・同和教育担当 ・道徳教育推進リーダー ・心はぐくみ部	
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事案対処等)について組織的対応ができていると回答した教員90%以上 ○児童アンケートで、「学校は楽しい」と回答した児童90%以上	・職員研修を行い、開発的生徒指導やいじめ、虐待などについて見識を深める。 ・毎月の「心のアンケート」、年2回のいじめアンケート、QUアンケートの実施分析により、いじめの早期発見や安心安全な学級づくりに取り組む。						・生徒指導主任 ・教育相談担当 ・心はぐくみ部	
	◎●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童生徒80%以上 ●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童生徒80%以上	・「ほめるからはじめる。はじまる。」を合言葉に、教師が児童のよさに目を向け、ほめることを意識して教育活動に取り組む。 ・学校行事、体験的な学習や総合的な学習等を通して、将来の夢や目標につながるよう、「めあて」と「ふりかえり」のある学習活動を意図的に仕組んでいく。						・生徒指導主任 ・心はぐくみ部	
●健康・体づくり	●「望ましい生活習慣の形成」	○「8時間以上の睡眠がとれている」と回答した児童90%以上 ○「体の成長を考えて、よりよい運動・食事・睡眠を意識して取り組んでいる」と回答した児童80%以上 ○「ゲームやテレビ視聴について、家庭で決めたルールを守れている」と回答した保護者80%以上	・各委員会の児童による、児童や保護者に対する啓発活動(放送でのよびかけ等)を行う。						・養護教諭 ・栄養教諭 ・すこやか部	
	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	●「健康に良い食事をしている」児童90%以上	・食育の計画に応じて、栄養教諭や養護教諭と連携しICTを活用した啓発学習を行う。 ・朝食喫食率のアンケートから実態を把握し、朝食摂取の励行を図る。 ・肥満傾向の児童のご家庭へ個別指導の案内を行い、了承を得られたご家庭に対して情報提供などの支援をする。						・養護教諭 ・栄養教諭 ・すこやか部	
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上	・金曜日を定時退勤日とするとともに、個人でも定時退勤日を設定することを推奨する。 ・夏季休業中の研修は、期間を決めて設定し、年休を取得しやすくする。						・教頭	
●特別支援教育の充実	○特別支援教育に関する教員の専門性と意識の向上	○特別支援教育に関する専門性が向上し、学級経営や授業に反映させることができたと感じる教員80%以上	・講師招聘による、特別支援教育に関する研修会を実施する。 ・児童、保護者の困り感に即時対応するため、ケース会議を開催する。 ・UDに基づく教育環境づくりを目指し、特別支援学級を参観する。						・特別支援教育CO	
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目										主な担当者
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○地域社会との協働・連携	○地域人材を活用した教育の推進	○教育活動において地域人材を活用し、教育活動が充実したと感じる教員80%以上	・学校行事等において、積極的に学校支援の依頼を行い、地域の教育力を学校教育に生かす。						・教務 ・教頭	

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志と誇りを高める教育

5	総合評価・ 次年度への展望	・ ・ ・
---	------------------	-------------